

## 土地改良区理事長が就任



↑就任あいさつに訪れた大和田義英理事長（左）

6月6日、広野町土地改良区の大和田義英理事長が広野町役場を訪れ、遠藤町長に就任のあいさつをしました。任期は平成28年6月1日から12月20日までです。

## リンドウ極早生品種「ふくしま凜夏」の出荷を報告



↑町役場を訪れた池田政明さんと福島県相双農林事務所双葉農業普及所の職員

6月2日、亀ヶ崎で農業を営む池田政明さんと福島県相双農林事務所双葉農業普及所の職員が広野町役場を訪れ、遠藤町長にリンドウ極早生品種「ふくしま凜夏」の出荷を報告し、同品種の花を手渡しました。

リンドウ「ふくしま凜夏」は、福島県農業総合センターが品種開発をしたもので、7月上～中旬はリンドウの市場単価が比較的高い上に安定しているため、その時期に収穫が可能な品種となっています。いただいたリンドウは、役場庁舎内のカウンターなどに飾りました。

## ロックコープス 清掃奉仕イベントが開催



↑参加者全員で記念撮影

6月12日、広野町内でロックコープス（復興支援と社会貢献を目的とした米国発のボランティア活動）による清掃奉仕イベントが開催されました。

参加者43人が広野町公民館から広野駅東側まで徒歩で移動しながらゴミを拾い、町の状況について遠藤町長から説明を受けました。その後はバスでニッ沼総合公園に移動し、園内の草むしりなどを行いました。

## クリーンアップ作戦を実施



↑浅見川でゴミ拾いをする参加者

6月5日、町内の3河川（浅見川、北迫川、折木川）でクリーンアップ作戦を実施しました。

浅見川では、朝8時に下浅見川の坊田橋付近で遠藤町長から開始にあたってのあいさつがあり、その後国道6号線に向かって川岸を上っていきました。

下浅見川周辺は、防災緑地や遊歩道整備の工事のため、目立ったごみはありませんでしたが、参加者全員が目を凝らして細かいごみを丁寧に拾い集めていました。

## 広野町と広野町議会が合同で復興大臣に要望書を提出



↑高木復興大臣に要望書を提出する町長と町議会議員

6月1日、広野町と広野町議会は、復興庁を訪問し、高木復興大臣に対して、①精神的損害賠償に変わる新たな支援制度、②特急列車の運行再開、③幼保連携型認定こども園の整備、④農業用ため池の除染とフォローアップ除染の着実な実施、⑤新たなエネルギーの創出による復興の加速化、⑥風評払拭および風化防止、⑦「防災緑地・道の駅ひろの」の整備、⑧常磐自動車道全区間の早期の4車線化の8項目を要望しました。

## 広野町放射線健康対策委員に委嘱状を交付



↑委嘱状の交付を受けられたみなさん

6月3日、広野町放射線健康対策委員6人に遠藤町長から委嘱状を交付しました。委員会は昨年度に引き続き、町民の放射線による健康への影響などについて検証し、町に対して必要な情報提供を行います。

委員は平成26年度に発足した「広野町除染等に関する検証委員会」のメンバーです。

## 広野町と広野町議会が合同で東京電力に要望書を提出



↑廣瀬社長に要望書を提出する町長と町議会議員

6月1日、広野町と広野町議会は、東京電力を訪問し、廣瀬東京電力ホールディングス(株)社長に対して、①福島第一原子力発電所等の安全対策の徹底と着実な廃炉、適時適切な情報提供、②確実かつ実情に即した原子力損害賠償への対応、③石炭ガス化複合発電（IGCC）設備の建設促進、④Jヴィレッジの早期再開、⑤関連企業の事業所および居住の町内への設置の5項目を要望しました。

## 町営学習塾で中学生の学習を支援



↑授業を受ける子どもたち

5月28日、広野町中央体育館2階ミーティングルームで、平成28年度中学生学習支援事業「広野町営学習塾」の開校式が行われました。この事業は、首都圏の大学生が週末や夏休みを利用して広野中学校生徒の学習支援を行うものです。

学習塾は、来年2月まで毎月開催されます。